

西中水れら



学校の教育目標：自ら学ぶ 共に生きる 努力一輪 4本柱：授業、挨拶、掃除、合唱

自らを鍛え、伸ばす夏休みに！

校長 細井 孝治

6月22日～7月15日の約1ヶ月をかけて中体連可茂地区大会が行われました。私も短い時間でしたが、各会場を回り、西中生の勇姿を観ることができました。試合終了の合図が鳴る最後の最後まで、決してあきらめることなく力の限り全力でプレーする生徒たちの姿、仲間を鼓舞しようと声が枯れるまで精いっぱい応援する生徒たちの姿に涙があふれてきました。

すべてが思い通りの結果だったわけではありませんでした。試合だけでなく事前の準備の大切さ、ピンチに立たされ追い込まれた時に気持ちを切り替えることの難しさ、身に付けた力のすべてを本番で出し切り、最高のパフォーマンスを見せることの難しさを痛感したことと思います。しかし、この経験が、生徒たちの心の糧となり成長に欠かせないエネルギーとなっていくはずです。

さて、令和6年度前期も、早いもので4ヶ月ほどが経ちました。生徒たちは、「日常生活から自分を出し切る！」をキーワードに、特に4本柱の授業、挨拶、掃除、合唱に力を入れて取り組んできました。夢や目標の実現に向け、毎日の学校生活を直向きに、精いっぱい取り組む西中生の姿には、とても心を打たれます。また、自分たちの学校を自分たちの手で、より楽しくより居心地の良いものにしていこうと、学級や生徒会が中心となって活発に取り組んでおり、とても頼もしく思います。

学年主任の先生方に、前期これまでの成長を尋ねると、うれしそうな顔で次のように話をしてくれました。紹介します。

<けやき>

けやき学級では、仲間との関わりの中で、一人一人が確実に成長できた4ヶ月になりました。特に体育大会では、交流学級の仲間と同じ目標に向かって頑張ることができました。その経験を生かし、日常生活でも係の仕事をやりきることや縦割り活動も助け合いながら、協力し合うことができるようになってきました。

<1年生>

周りの人まで幸せにする「挨拶」や「笑顔」に象徴されるそれぞれの「輝き」が、不安と期待の入り混じる中学校生活のスタートを、日々よりよいものにしていきました。今日よりも明日を充実した素敵なものにしたいと願いを込めた学年スローガン『明日に向かって』。その実現に向けて、一人一人のよさと仲間への想いが発揮された、実に素晴らしい4ヶ月になりました。

<2年生>

進級し、日常で成長を感じるのには聞く姿です。形だけでなく表情や言葉で反応しながら聴く、本物の価値ある聴き方です。体育大会は、本気で全力を出し切る姿や仲間と温かい声をかけ合う姿に感動ばかりでした。昨年より、自分たちで創ろう、やってみようとする姿に、たくましい成長を感じました。9月の福井研修は、これまでの本物志向の成長を生かし、大成功させていきましょう！

<3年生>

3年生になって学校を背負う気持ちが一層強くなり、毎日の学校生活や部活動で、後輩を自分の姿でリードしていくことができました。その姿は体育大会でも遺憾なく発揮され、自分たちの練習をしながらも、後輩の練習を見守り、アドバイスをするなど、西中の顔である最上級生としての自覚、頼もしさが、日に日に高まってきました。これからの成長が益々楽しみです！

さあ！明日からいよいよ夏休みです。前期、これまでに掴み取ってきた自信や達成感、満足感をエネルギーに、一人で立ち向かう夏休みですが、自分を鍛え伸ばすよい機会にしていきましょう！